

マグノリア グループホーム 令和6年度 第2回運営推進会議 報告書

開催日	令和6年7月17日（水）			
開催場所	グループホームマグノリア			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の家族	1名	地域包括支援センター	1名
	地域住民の代表	2名	行政（市長寿社会課）	1名
事業所出席者	施設長		グループホーム職員	3名
	グループホーム管理者			
欠席者				

開会

- 次長より、経営改善をマグノリア全体で行い、グループホームでも色々取り組みを行っている事を説明される。

利用状況報告について

7/1現在

入居者の状況	入居人数（18名） 男性（3名） 女性（15名）		
	要介護1（4名）	要介護2（8名）	要介護3（3名）
	要介護4（3名）	要介護5（0名）	平均介護度（2.3）
	年齢（平均 92.3歳）（最高齢 101歳、最若齢 82歳）		

れもんの家～要介護1（1名） 要介護2（5名） 要介護3（2名） 要介護4（1名） 要介護5（0名）
 すみれの家～要介護1（3名） 要介護2（3名） 要介護3（1名） 要介護4（2名） 要介護5（0名）

5、6月の状況報告

- K・T様（男性）：5月6日退居される。（4月28日から入院されていた）
- K・T様（女性）：5月7日すみれの家に入居。
- K・T様（女性）：5月14日れもんの家に短期入所。
- K・N様（女性）：5月14日厚生病院入院。（6月13日退居される）
- F・S様（女性）：5月21日れもんの家に入居。
- M・M様（女性）：5月30日藤井政雄記念病院より退院。
- T・T様（女性）：6月4日藤井政雄記念病院より退院。

事業所活動報告について

（1）5、6月活動状況

- 別紙にて報告

（2）職員研修会等

- 毎月栄養研修、認知症研修、緊急時対応訓練、介護保険ワンポイント研修、介護報酬研修

<毎月定例としてあるもの>

- ・ 第1水曜：運営会議 ・ 第1木曜：感染委員会 ・ 第2月曜：事故防止委員会
- ・ 第4水曜：防災環境委員会 ・ 第3木曜：高齢者虐待防止、身体拘束適正化委員会
- ・ 第3金曜：サービス向上委員会 第2木曜：地域交流委員会、第2金曜：研修員会
- ・ 第1火曜：安全衛生委員会 ・ 毎月10日前後広報委員会 ・ 毎週月曜稼働調整会議
- ・ 中旬：各ユニット会議 ・ 月末：グループホーム係会議

・ ヒヤリハット報告について

(1) ヒヤリハット (5月：4件、6月：4件)

※ヒヤリハットは事故が起こる前に気付いたこと、起こっても利用者には変化がなかった場合のこと

	転倒 転落	表皮剥離	異食	喉詰め 誤嚥	離所	誤薬	情報共有 ミス	その他	医療 健康	利用者 トラブル
5月	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0
6月	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0

(2) 事故ヒヤリ (5月：3件、6月：4件)

※事故とは起きてしまい利用者の観察が必要または治療が必要になったこと

	転倒 転落	表皮剥離	異食	喉詰め 誤嚥	離所	誤薬	情報共有 ミス	その他	医療 健康	利用者 トラブル
5月	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6月	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0

・ 意見交換

- ・ ヒヤリハットの報告方法が変更になった事について聞かれる。
→今年度よりこの方法に変更した事を伝え承して頂く。
- ・ 報告内容が毎回同じような内容で繰り返されており大変さが伝わってくる。
→1人に対応する時間帯で利用者様対応中に他利用者様のヒヤリが起きている事がある。
愛情を持って接して下さっており、大変ですが頑張ってお返し下さいとねぎらいの言葉をもらう。
- ・ 地域から行事の参加についての声かけがあるか聞かれる。
→昨年、公民館祭りには参加し今年は陶芸展示参加を目標に取り組みを行っている。
コロナ禍前は、神輿や天狗の来訪があった事を伝える。
- ・ 行事や人との触れ合いが出来ようになってきた事が気分転換や癒しに繋がってきている。
- ・ 立地的に閉ざされた場所にありながら、活動を良くされている。
- ・ マグノリアではインスタグラムを発信しています。活動や行事について地域の方との関わりを持って行ければと説明する。
- ・ 防災訓練について、実際に行うとなればグループホームは3階にあり、避難できるかが大変な事で出来るかどうか分からないと思うと助言される。
→本年度から宿直廃止となり夜間3人体制についても説明する。
8月4日(日)に、はしご車に来てもらい高さの具合を見るが、どこまで出来るかは分からない事を伝える。

次回開催予定：令和6年9月10日(火) 13:30～14:30